

# ましみずの里

No. 6

R2. 5. 25

校長

海老洋一

～自ら学び ともに伸びる～ 自ら考え表現し合い・自ら開きわかり合い・自ら挑み高め合う子どもを育てます



## ソーシャルディスタンスを保って、学習を再開します



### 校長講話より

1年生から6年生まで全校生が学校に登校したのは、昨年度の3月2日以来、84日ぶりになります。これからまだ、新型コロナウイルスの感染がどうなるかわかりませんが、今日から学校が始まって、私や高揃小の先生方達はみんな、とてもうれしい気持ちでいっぱいです。

さて、1年生には入学式で、2年生以上の人には4月20日に話したこと、それは今年、高揃小学校は「夢に向かうくらしづくり、自ら学び、ともに伸びる」という目標の話をしました。それに向かって、みなさんにめざしてほしい姿は3つある話もしました。それは「自ら考え表現し合う子・自ら開きわかり合う子・自ら挑み高め合う子」です。今日からの毎日の学習の中で、みなさん、このことを心に留めてくらしをつくってください。そして、今日は休校が終わり始まったばかりですが、がんばりたい自分の目標を考えると、この3つの姿を思い浮かべて、なりたい自分の姿をはっきりさせて、毎日の学習に取り組んでほしいと思っています。



1年生：トウモロコシの種うえ



2年生：自分の野菜苗に水やり

みなさん、今日からも誰一人として、この病気にかかってほしくありません。誰もがウイルスをうつさないように、うつらないようにする生活、くらしをつくっていかねばなりません。これは高揃小だけががんばっても意味がありません。天童市で、山形県で、そして日本全部で、今以上に広がらないようにするためには、今まで通りの生活、くらし方を変えなくてはいけないことがあります。それは「新しい生活を日本の国民、みんなで作っていきましょう。」ということです。今日はその話をします。

まず、最初に新型コロナウイルスの話をします。この新型コロナウイルスは、インフルエンザと同じように、ウイルスという、目に見えない小さい病気のもとになる微生物がおこす病気です。これが人の体の中に入ると、病気の原因になってしまいます。そして、熱がでたり、息が苦しくなったり、体がだるかったり、鼻水がでたり、味やにおいがわからなくなる場合もあります。でも、ウイルスが体の中に入った人の中には、こういう症状が出ない人もいます。また、お年寄りや他の病気がある人がかかると、悪くなりやすいこともわかっています。では、どうやってコロナウイルスは人にうつってしまうのでしょうか。それは、つばや咳、くしゃみをしたときに、一緒にウイルスが空気の中のでてしまい、それを吸い込んだり、さわったりしてうつるのです。また、ウイルスがついているドアや手すり、机やイス等、たくさんの人がさわるところを自分の手でさわってしまい、その手で自分の口や鼻、目をさわってしまうと、そこから自分の体にウイルスが入ってしまうといわれているのです。



3年生：体育館で並んで健康観察



4年生：間隔を取って学習

では、わたし達みんなが新型コロナウイルスにかからないようにするために、一人一人が気をつけることはどんなことでしょうか。今日から、病気にならない新しい生活にむけて、やってほしいを3つ話します。

**1つ目。先生や友達との間隔は、最低1mは空けましょう、離れましょう、ということです。**手を広げてもくっつかないくらい離れて過ごしてください。このことをソーシャルディスタンスと言います。

**2つ目。マスクを必ず付けて、話しましょう、学習していきましょう、ということです。**マスクはウイルスを飛び散ることを防いでくれます。また、マスクをしていると、ウイルスがついた手で自分の口や鼻、目をさわることも防ぐことができます。マスクが家にない人は、先生方に話をしてください。手作りマスクは洗えば、何回も使えます。

**3つ目。手は、水と石鹸でていねいに洗いましょう、うがいもしっかりしましょう、ということです。**学校では、登校して教室に入る前、休み時間の後、給食や掃除のとき、トイレに行ったとき、多くの人がさわったところを自分でさわった時等です。学校から帰ったら、また外出して帰ったら家でもしっかり行ってください。この3つとともに、しっかり食べること、よく寝ること、家でゲームばかりしないで体を動かすこと等、強いからだを心をつくっていくことも、これからも大切なくらしづくりです。



5年生：教室前で健康観察

最後に、もう1つだけ話をします。今は、全国的にこの病気に感染してしまう人が少なくなっていますが、これはゴールデンウィークで日本の国民みんなが、外出をしないで家にいた「自粛」という効果があるのでと言われています。でも今、緊急事態宣言が解除され、今日から学校が始まり、これまでどおりに人と人が前のようにふれあいながら、少しずつ生活が元通りになってくると、また感染する人が増えてこないか心配や不安になります。そして、自分が、そして家族が病気にかからないかなあと思うことは、当たり前のことです。不安になってしまうことも当然あります。でも**その心配で不安な気持ちを、学校を休んでいる友達へ、心無い言動で攻撃したり、仲間外れにしたりする気持ちに変えては、絶対にいけないということです。**もっと言うと、休んでいる理由もよく知らないのに、または誤った情報を信じてしまったり、思い込んでしまったりして、相手の心を傷つけるような言葉を言うてしまうなど、差別やいじめがあっては絶対にいけないということです。冗談でも言うてはいけないということです。これまでと同じように、学校を休んでいる人へ、「だいじょうぶ?」「早くよくなってね。」「大変だったね!」「なおってよかったね。」「いっしょにがんばろうね。」等、温かい声を掛け合えたら素敵ですね。



6年生：ソーシャルディスタンスで朝読書

**みなさん一人一人が、正しい情報をもとに、自分のことも、まわりの人のことも、よく考えて行動していくことはとても大切な学習です。**よく考えるということは、学ぶことです。学んだことは行動していきましょう。そのためには、友達のことを考えること、つまり友達のことをわかろうとしなければ、よりよい行動は生まれません。一人一人がよく考えて行動するから、みんなが伸びていくのです、成長していくのです。それが今年の高槻小学校の目標、「自ら学び ともに伸びる」につながっていくと信じています。今日からまた、一人一人がしっかりと強くつながり、ウ

イルスに負けない絆を深めていきましょう。私達みんなが闘う相手は新型コロナウイルスです。今こそ、私達みんなで力を合わせて、私達のくらしをつくっていきましょう。 <5月25日(月)校内放送>